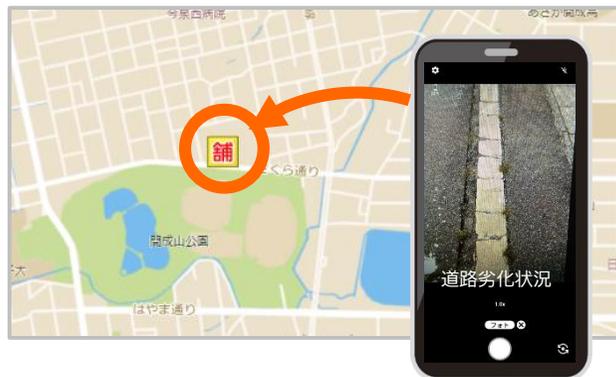


- 道路管理や開発許可業務など様々な業務で使用している地理情報システム(GIS※)に、新たに3つの新機能を搭載し、1月22日から運用開始（**同一システム上での下記の3機能実装は全国初**）
- 現場から情報登録する機能やSNS投稿情報を収集し、地図上に表示させる機能などを活用し、情報の速やかな共有と収集による業務の更なる効率化を図ります



※ GISとは、Geographic Information System の略

## ① 現場からの情報登録機能



- スマートフォンやタブレットを使用し、現場から位置情報のプロットや詳細情報の入力、写真投稿ができる機能
- 現場の情報を、庁内の職員や関係所属に速やかに情報共有することが可能

### ≪ 活用例 ≫

- 災害対応時における現地調査情報の入力・共有
- 道路パトロール結果の入力・共有
- 「ココナビこおりやま」現地対応状況の入力

## ② SNS投稿情報の収集・表示機能



- SNSに投稿された情報から、災害や事故などの情報を抽出してリアルタイム（最短2分）で表示する機能
- 位置や現場の様子が地図上で確認できるため、迅速な現地対応が可能

### ≪ 表示される情報 ≫

エリア	福島県全域
種類	気象・災害、火災、事故、事件、交通情報など
対象SNS	X、YouTube、Instagram、LINE等

## ③ 位置情報表示機能



- 専用アプリにより、公用スマートフォンの位置情報を取得し、地図上に表示する機能
- 現場対応職員の位置情報を把握できるため、適切な人員配置が可能

### ≪ 公用スマートフォン ≫

- 2023年5月に本庁内に210台の公用スマートフォンを配置
- 災害発生時には、対応部局に集約して利用予定